

令和5年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原地区)

開催日時	令和5年11月10日(金)午後7時00分から午後8時45分
場 所	向原児童館
町民参加者	25人
町出席者	町長、教育長、参事兼企画総務課長、地域防災課長、福祉課長、定住対策課長、会計課長、こども教育課長、事務局3人

出席者からの主な意見と提案

《テーマ：自然災害への備えと対策》

○総合計画のアンケート結果からも、災害に関して皆さん関心があることがわかる。近年では熱海の土石流、50年に一度の大雨など災害が多い。皆さんの不安がこういったデータに表れていると思う。私は自治会長の時、地域の災害発生の危険度のようなものを聞いたことがある。尺里川と滝沢川に挟まれている地域なので、非常に危険だという理解ができた。災害が起きた場合の避難場所は山北中学校だが、避難場所に行くには滝沢川と尺里川を渡らないといけない。大雨の際にそういう状況になった場合どうすればいいのか、今でもすごく不安に思っている。そういったところがわかりやすくなっている資料や、皆さんが安全に避難できる場所などを提供していただきたい。

○避難場所を提供していただける企業の施設を災害時使わせていただけるという件だが、これは今の場所に移転することが決まった時からの話である。これから協定を結ぶという話もあったが、災害に関することなのですぐにやってほしい。また、書面の取り交わし後できるだけ早急に地域の住民に周知してほしい。

○今回の防災訓練についてだが、風水害を想定しているのに、なぜ川沿いに逃げるようになっているのか。旧清水小中学校やスポーツ広場、ぐみの木近隣公園や山北高校が避難所として指定されているが、山北中学校だけ高台である。もし三保ダムが決壊したら、小田原まで水浸しになってしまう。人数が入れるように広いところを想定して避難所を設定していると思うが、1年ごとに、例えば向原地区全体ではなく地区ごとに、東名の側道や丸山へあがりたりするような訓練を行い、別の逃げ道があるということがわかるようにした方がよいと思う。

○防災訓練の内容をきちんと伝えて欲しかった。避難所の様子を見せたいとか、訓練の目的など住民の間で誤解が生じていたように感じる。

《テーマ：その他》

○総合計画自体はよくできていると思う。問題は進捗状況についてである。意見照会も大事だが、町長が推進している計画がどの程度できているのか、その評価が必要である。それが無いまま次の10年のプランについての意見照会がされているが、総括の機会でもあるので、現計画の総括が見える形でやってほしい。昨年も、計画の最終年度に入るのにも関わらず、なぜ向原の自主防災組織の強化の話が出てくるのか聞いた。最終年度はウェイトが非常に大きいと思う。ハザードマップの配布などをしていただいているが、見える形に落とし込んでもらわないと、町民は配られたものだけ見てもわからない。評価できるところもあるので、それを町民に見える形でまず出してもらいたい。PDCAをしっかりとお願いしたい。また、時期も遅いと思う。最終年度に一生懸命取り組んでいることもわかるが、これから先の10年、どのように活力ある町を作っていくのか、町民にとっては節目となる。総合計画は最上位の計画に位置づけられると言われた。前期、後期の計画を見ると項目がたくさん並んでいるが、率先して最初にスピード感をもってやっていかなければいけないものと、それから長期的にプランニングしていくものなど、ウェイト付けをして、メリハリをつけてもらいたい。

○町では、度々広報紙等により道路にはみ出た草木の処理をするように依頼しているが、空き家や居住者不在などにより常に対処していただけているわけではないと思う。

- ① 空き家に対応する方がいないもしくは連絡が取れない場合
- ② 居住者が高齢等により自分で対応ができない場合
- ③ 業者に依頼したくても、依頼先がわからなかったり費用の負担が難しかったりする場合

このように、個人で対応できないまたはしない場合は、町公費での対応や、費用の補助を行うなどの対応が必要になってきている時代ではないかと思う。町として公費で実施するには条例等の制定が必要になるなど大変なことはわかるが、地域の皆さんの責任感などに頼るのではなく、今後はぜひ町の公的な負担で対応していただけるよう検討していただきたい。

○機関車 D52 が動く際に、どうせやるのなら御殿場線本線に走らせたらどうかと話をしたが、相当なお金がかかるということで難しいとの話をされた。しかし、現在ではクラウドファンディングなどもある。富士山が見える環境がある中で、D52 がもし本線を走ったら相当数の観光客が来て、町も潤うのではないかと思う。もちろん、行政との関係や JR 東海との連携が必要なことはよくわかる。夢として語り合うようなところまで持っていけないか。

○私の家のすぐ前に空き地がある。地権者はわかっているが、普段はいないため草が伸びてきたら自分で草を刈っていたことがある。しかし、面積がとても広く対応しきれないことから、町にお願いして地権者に文書を出してもらった。その後、半年ほど待っても地権

者が対応する様子になかったため、もう一度文書を出してもらったが、地権者のやる気がなく対応する気配がない。こういう場合、ほかに手はないのか。これから同様の事例は多くなってくると思う。

○1市5町には産婦人科がない。山北町は高齢化が進む中若い世代を呼び込んでいるが、1市5町で、協力して医師を呼ぶ、補助金を出す、県議会議員を通じて強く要望するなど、そういったことはできないのか。

○循環バスの関係についてだが、あまり利用者が乗ってないように感じる。買い物客を循環バスに引き込むことができるよう、本数を増やすことはできないか。また、原耕地の停留所だが、停留所に何が書いてあるのか見えなくなっている。こういった場合は、直接運行会社に言うのか、それとも町に言えばよいのか。

○上下水道の運営について、料金改定もしているが、ギリギリな状態であり、なんとかしていかないと、人口減少により使用料を払う人も少なくなっており、今後も厳しい状況になると思う。